

## カづけてくださる証し

### 皆が宣教者

日本カトリックミッシヨナリームーブメント・JLLM の淡原比呂志事務局長は、次のように書いていらっしゃいます。

洗礼を受けた一人ひとりの信徒、すべての信徒がキリストの愛を伝え、「ともに生きる」世界を作る使命に招かれているのですから、すべての信徒は、ミッシヨナリーです。宣教者がかつて聖職者や修道者に限定して解釈されていた時代もありましたが、現代の社会においては信徒の果たす役割は非常に大きく拡大し、いずれは様々なミッシヨンの中心的な存在になっていくでしょう。

### 一人のミッシヨナリーの手紙から

(仙台教区松本町教会 洞江 有実子)

カンボジアに派遣されて1年が経ちました。だいぶ日に焼けて見た目はすっかりクマエ(カンボジア人)になってきました。

1年経ったとはいえ、現地のスタッフにまだまだ助けてもらうことの連続です。私は、日本にいる時から助けられることの方が多く、自分は人より劣っているのではないかと劣等感を抱くことがしばしばあります。でも自分に誇示できるほどの力や能力があったら、目に見える成果に走り傲慢な気持ちになっていたかもしれません。そう考えると「何もない」というのは一つの恵みなのかと思います。

日本では気づけなかったことを場所が変わっただけで、気づかされるのが沢山あります。日本での「当たりまえ」に囲まれた生活から抜け出すという体験は大切だなと思いました。(ミッシヨ No. 188 から)

## 福音宣教特別月間

— 2019年10月13日 —

### 世は福音を必要としている

「私が来たのは、羊が命を受けるため、  
しかも豊かに受けるためである」 (ヨハネ 10、10b)



「人類は、多くの分野で躍進が見られる歴史の転換期を生きています。福祉、教育、通信の分野で、人々の快適生活に寄与する進歩が称賛されています。しかし、現代の大半の人々が、痛ましい結果を招く不安定な日々送っていることを忘れてはなりません。病理は増す一方です。富んできると言われる国においてでさえも、多くの人々の心は恐怖と絶望に覆われています。生きる喜び

はしばしば失われ、思いやりを欠くゆえに暴力を増し、格差はいっそう広がっています。生きるために、そして多くの場合は、わずかながりの尊厳をもって生きるために、戦わなければならないのです。」(教皇フランシスコ「福音の喜び」52)



## 具体的な働きの例

カトリック教会は、全世界で様々な教育事業を通して、人間の尊厳を守る社会を築いていくように貢献しています。また、多くの子供と青年たちにイエスが示された愛と慈しみに触れを大切な場を提供しています。こういう働きに、多くの司祭、修道者、信徒は、キリスト者でない人々と共に貢献しています。こういう意味でも、大事な出合いの場になっています。



	幼稚園	園児数	小学校	生徒数
アフリカ	19,806	2,194,900	39,893	19,174,414
アメリカ	15,617	1,379,128	20,841	6,285,603
アジア	13,673	1,841,271	15,956	5,967,560
ヨーロッパ	22,389	1,835,096	15,569	2,948,487
オセアニア	1,341	62,975	4,314	749,060
総計	72,826	7,313,370	96,573	35,125,124

	中・高等学校	生徒数	短大等・学生	大学生
アフリカ	14,816	5,911,675	110,729	116,391
アメリカ	11,554	3,979,437	713,778	1,827,041
アジア	10,857	6,015,157	1,338,774	453,581
ヨーロッパ	9,926	3,590,479	333,552	617,559
オセアニア	709	459,599	12,624	34,976
総計	47,862	19,956,347	2,509,457	3,049,548

## 祈りと振り返り

恵みゆたかな神よ、  
あなたは、教会がすべての人の救いの秘跡となり、  
キリストのわざを世の終りまで伝えることを望まれました。  
福音宣教特別月間に当たって祈ります。  
世界のキリスト者が言葉と行いをもって  
周囲の人々にいのちと愛の源であるあなたを告げ知らせ、  
人類の平和と繁栄に貢献できますように。

わたしたちの教会も  
あなたの望みにこたえることができますように、  
光と力を注いでください。

福音に出会う恵みを与えられたわたしたちが  
重荷と労苦を背負うすべての人びとと共に、  
キリストから与えられた喜びと希望を分かち合い  
あなたに向かって歩いていくことができますように。  
主イエス・キリストによって。アーメン。

### ●振り返りのために

1. どういう状況に出会う時に、特に福音を伝える必要を感じますか。
  2. 私たちの社会が必要としていることに福音が応えられると思いますか。
  3. 人々が求めていることに教会が応えるために、何を大事にしなければならないと思いますか
- 祈りのうちにこれらの点を考えてみる。神様に福音を証しし、のべ伝える恵みを願う。
- 教会のさまざまなグループで、他の人々との分かち合いもできます。